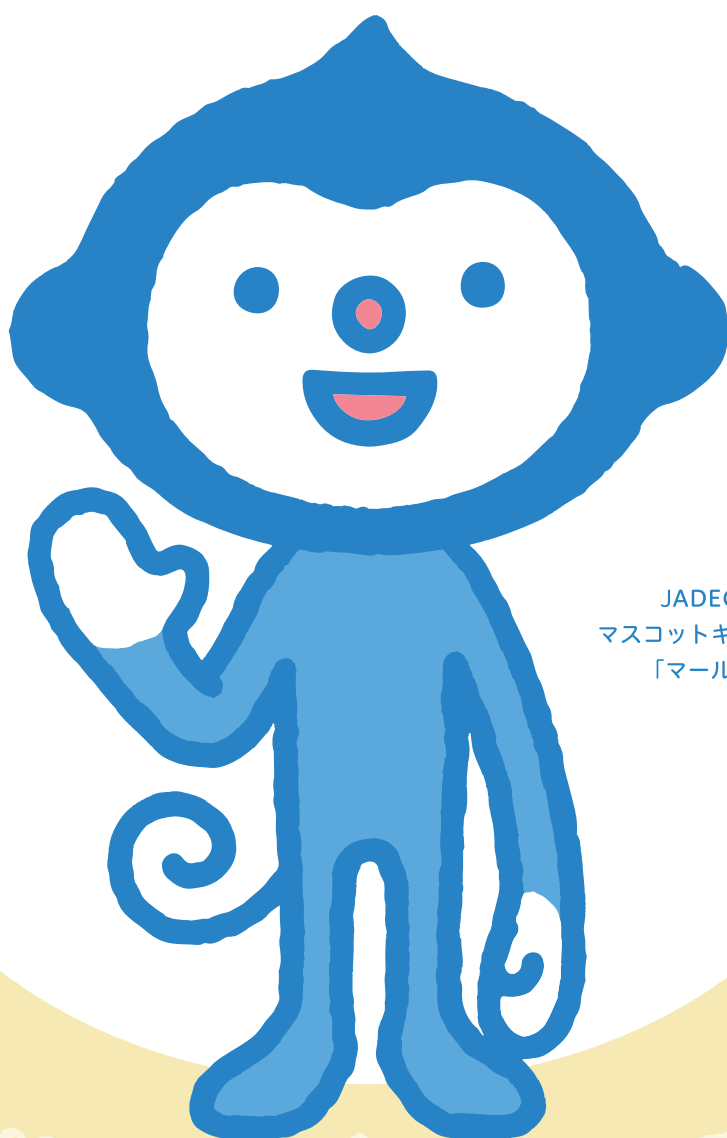


公益社団法人 日本糖尿病協会

# J A D E C R E P O R T

2025-2026



JADEC公式  
マスコットキャラクター  
「マルくん」

# 2025-2026年度 JADEC(日本糖尿病協会)の活動

## JADEC肥満部会

JADECではダイアベティスの抑制策の一環として、肥満に関する正しい知識の普及をめざすJADEC肥満部会を設置し、新たな取り組みを始めました。

医学的な観点として、肥満状態にある人は、ダイアベティス発症リスクが上乘せされることが長年研究されています。ダイアベティス発症の重要なリスク因子である肥満を“ダイアベティスの前段階”と位置づけ、厚生労働省や経済関連団体と連携し、就労世代を対象とした全国的な「肥満アドボカシー活動」を展開します。

### [活動のポイント]

- 肥満をダイアベティス予防の入口として社会に位置づけること
- 偏見の解消と適切な医療アクセスの促進
- 国や企業と連携した啓発環境の整備



〈肥満部会 公式ポスター〉

## 記者発表会

2026年3月4日の「世界肥満デー」に合わせて、肥満を正しく理解して適切な治療に結びつけることや肥満に対するスティグマ(負の烙印)払しょくの重要性を訴える記者発表会を実施しました。

これにあわせ、肥満部会では活動のキャッチコピー「肥満の解消、今の一步が未来を変える」を掲載したポスターを制作し、医療機関や企業への配布を開始しました。



## ACジャパン×JADEC ダイアベティスの啓発広告

公益社団法人ACジャパンが実施する2025年度支援キャンペーンにJADECが採択され、アドボカシー活動をテーマとする広告「糖尿病のほんとう」が始まりました。この広告は、ダイアベティスに関する正しい知識を広く社会に伝え、スティグマ（負の烙印）をなくしていくことを目的としています。

テレビや新聞、ラジオなどの媒体で展開された広告には、糖尿病とともに生きる元プロ野球選手 岩田稔さん、華道家 假屋崎省吾さん、モデル 星南 (SENA) さんに出演いただき、「社会には不正確な知識による糖尿病の偏見があり、それに苦しむ人がいる」という気づきを社会に促し、かつ、今ダイアベティスとともに生きる人々に「適切な治療を続けることで、なんでも挑戦できて人生を切り開くことができる」という応援メッセージを伝えてもらいました。

JADECでは、これからもダイアベティスの正しい知識を広く伝えるとともに、ダイアベティスとともに生きる人が笑顔で人生を歩むことができる社会の実現を目指し、アドボカシー活動を継続してまいります。

JADEC(日本糖尿病協会)が採択された  
2025年度ACジャパン支援キャンペーン広告



半世紀以上、誤解され  
つづけている疾患がある。

糖尿病のある人は、太っているという誤解。スポーツできないという誤解。  
長生きできないという誤解。糖尿病のない人と同じように働けないという誤解。  
ほんとうは、適切な治療をつづけることで、スポーツも仕事もなんだって挑戦できるのに。  
それも、糖尿病のない人と同じように。  
日本では、予備群を含め「6人に1人」が糖尿病と生きています。  
あの人が、あなたが、糖尿病と歩む未来もあるかもしれない。

ダイアベティス  
だから知ってほしい、糖尿病のほんとうを。

JADEC  
公益社団法人 日本糖尿病協会  
糖尿病の正しい知識を伝える

知ろう、糖尿病について。  
ダイアベティス

※引用：令和4年度医療経済・医療政策に関する調査は JADEC の公式サイトへ  
AC JAPAN



半世紀以上、誤解され  
つづけている疾患がある。

ほんとうは、適切な治療をつづけることで、スポーツも仕事もなんだって挑戦できるのに。  
それも、糖尿病のない人と同じように。  
日本では、予備群を含め「6人に1人」が糖尿病と生きています。  
あの人が、あなたが、糖尿病と歩む未来もあるかもしれない。

ダイアベティス  
だから知ってほしい、糖尿病のほんとうを。

JADEC  
公益社団法人 日本糖尿病協会  
糖尿病の正しい知識を伝える

## ダイアベティスのある子どもと家族を支援する新プロジェクト 「Roger Moore Project」

JADECは、1961年の設立当時から小児期発症のダイアベティス対策に取り組んでいましたが、2025年度からはさらにバージョンアップした活動が始まりました。

これは、日本で製薬企業の経営経験をお持ちの Roger Moore (ロジャー・モア) 氏が、JADEC のダイアベティス・キッズキャンプをはじめとする支援事業に賛同し、ダイアベティスとともに生きる子どもの未来に向けた継続的支援を申し出てくださいましたことによるものです。

JADECは、Moore氏とともに、既存の医療支援や情報提供を補完しながら、発症直後という最も支援が届きにくい時期に焦点を当てた新しいアプローチでプロジェクトを展開します。初年度は、ダイア

ベティス発症直後の子どもや家族の不安を取り除くための全国交流会や情報提供冊子など、様々な施策を実施する予定です。



Roger Moore氏

# JADECの活動について

JADECのステークホルダーは、ダイアベティスのある人、医療者、自治体、企業など多岐に渡ります。そうした方々に向けて、以下の4つの目標を持って活動しています。

## 1 アドボカシー活動

ダイアベティスのスティグマ払しょくに  
取り組みます。

- ことばを見直すプロジェクト
- 肥満部会
- 市民向け啓発講座
- メディアセミナー など

## 2 ダイアベティスの正しい知識の 普及啓発

ダイアベティスの治療や予防について  
正しい知識を広めます。

- ダイアベティス専門雑誌の発行
- 治療に役立つグッズの制作
- ダイアベティス・キッズキャンプの実施
- 年次学術集会の開催 など



## 3 調査研究

よりよい医療を提供するための  
基礎づくりを行います。

- 研究助成
- ダイアベティスのある人や医療関係者へのアンケート調査
- ダイアベティス治療薬の市販後調査 など

## 4 国際交流

日本だけにとどまらず、世界規模で  
ダイアベティス対策に取り組みます。

- 世界各国の学・協会との協調
- 国際糖尿病連合 (IDF) の一員としての活動
- アジア地域の若手研究者育成 など

# JADECの会員

JADECには、ダイアベティスに関心のある方ならどなたでも入会することができます。ダイアベティスのある人やご家族、ダイアベティス診療に携わる医療者や企業の皆さんが、JADECという輪の中で同じ目的をもって活動しています。



本部会員入会は  
こちら

友の会  
会員

医療機関に設けてある「友の会」に入会する会員です。協会誌「さかえ」の購読と、友の会での交流活動に参加できます。友の会は、全国の約1,600の医療機関に設置されています。

本部  
会員

JADEC本部に入会し、協会誌「さかえ」を購読して、ダイアベティスの知識を深めることを目的とする会員です。全国どこからでも入会が可能で、若い世代や医療者が多く参加しています。

上記以外にも、JADECの目的に賛同して活動をご支援いただく企業・団体や個人を対象とする賛助会員制度もあります。

## JADECの資格制度

### 医科向け

- ◆登録医  
(糖尿病診療に熱心な糖尿病を専門としない医師)
- ◆糖尿病認定医  
(糖尿病専門医、または登録医から昇格した医師)

### 歯科向け

- ◆登録歯科医  
(JADECの研修を終了し、糖尿病医療の知識をもつ歯科医師)

### ダイアベティス関連企業社員向け

- ◆ダイアベティス関連企業EXPERT社員  
(JADECの認定試験に合格した医療情報提供者など)



※5年以内に要件を満たし資格更新された方のバッジは銀色になります。

# JADEC協会グッズ紹介

JADECでは、ダイアベティス関連企業の協賛により下記のグッズを発行し、医療施設などを通じて無料で配布しています。

## JADEC連携手帳

1,670,500部発行

検査値や治療内容などを記録し、治療を可視化。地域連携・病診連携にも活用される手帳



活用方法について  
動画で解説しています



### 手帳のポイント

適切な検査を適切な時期に行うため、2年間にわたる検査計画を記載するページを新設しました。

## 自己管理ノート

1,104,000部発行

毎日の血糖自己測定結果だけでなく、血圧、体重、歩数も記録し、主治医と情報共有する複写式のノート



## 緊急時IDカード

11,000部発行

緊急時にダイアベティスであることを周囲に知らせるカード



(1型カードは会員限定)

# JADEC食事療法冊子シリーズ

## ダイアベティス食事療法 あいうえお

183,000部発行

毎日の食事療法をわかりやすく説明する冊子

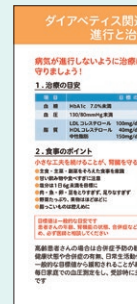


## あなたの腎臓を守る 食事療法かきくけこ

50,000部発行

糖尿病腎症の食事療法の工夫を紹介する冊子  
2026年4月に改訂第4版が発行されました。

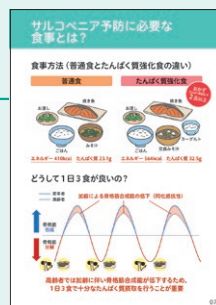
リニューアル



## いつまでも若々しく、 活力ある生活を送るために 食事療法さしすせそ

145,000部発行

サルコペニア予防に必要な、食事療法や運動をわかりやすく解説する冊子。



## その他の食事療法冊子

心も体も元気にしたい！  
食事の工夫  
～料理をしてみませんか？

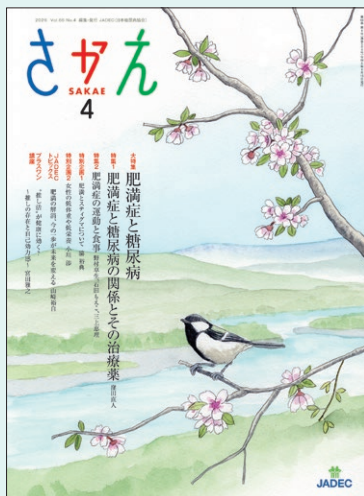
血糖値が高めといわれた  
妊婦さんのための食事療法

## 発行雑誌紹介

JADECでは、協会誌として「さかえ」を発行し、ダイアベティスに関する正しい知識を提供しています。

### 「さかえ」

月刊/定価：550円(会員は無料)/64ページ/A4変型判



#### ■さかえ4月号

大特集 肥満症と糖尿病

特集1 肥満症と糖尿病の関係とその治療薬

特集2 肥満症の運動と食事

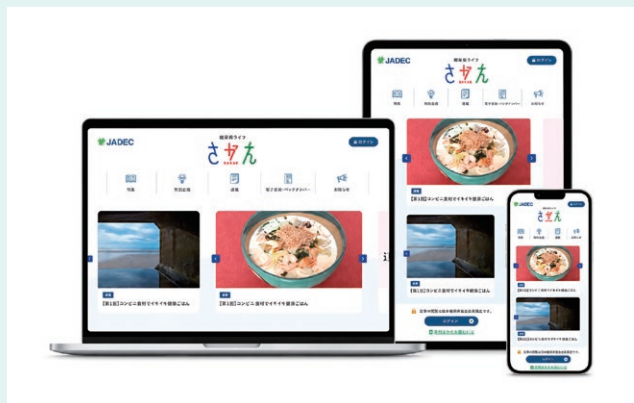
### さかえwebページ

2024年11月からは、さかえにwebページが仲間入りしました。JADECの会員になってログイン画面よりID・パスワードを入力すると、電子ブックですべてのページを読むことができ、特集や連載など項目ごとに関覧することもできます。

さかえwebページはパソコン、スマートフォン、タブレットからご覧いただけます。



さかえwebページは  
こちらから



## キッズ・ヤングダイアベティス対策



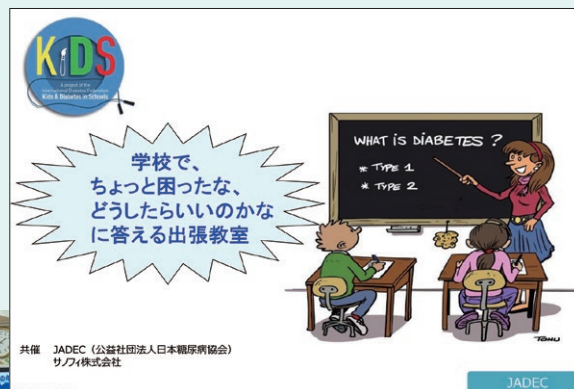
### ダイアベティス・キッズキャンプ

ダイアベティス・キッズキャンプは、小・中・高校生を対象として、自然の中での集団生活を通じて、医療者のサポートを受けながらインスリン療法を学び、ダイアベティスとともに生きる上で必要な自己管理の知識・技術を身につける機会を提供しています。キャンプで同じ病気をもつ仲間と過ごすことにより、「ダイアベティスとともに生きる人生」を受け入れ、自己肯定感を育むことができます。2025年度は7月～12月までに全国44カ所で開催し、キャンパー929人（うち初参加者250人）、医療者のボランティアスタッフ3,557人が参加しました。

この事業はTOOTH FAIRY（日本財団と日本歯科医師会のプロジェクト）の支援を受けて実施しています。

### KiDSプロジェクト（教職員向け訪問プログラム）

JADECとサノフィ株式会社が協働し、ダイアベティスのある子どものよりよい学校環境のサポートを目的にKiDSプロジェクトを実施しています。本プログラムでは、糖尿病専門医とインスリンメンター\*が全国の学校を訪問し、ダイアベティスの正しい知識を伝えるとともに、ダイアベティスのある子どもを担当する教職員の疑問や悩みの解消を支援しています。2025年度は3校を訪問し、107人が参加しました。



共催 JADEC（公益社団法人日本糖尿病協会）  
サノフィ株式会社

JADEC

\* JADECの認定資格。ピアサポートをコンセプトに、ダイアベティスのある人がダイアベティス・キッズキャンプや学校等を訪問し、自らの体験を伝えることで、ダイアベティスへの認知向上に取り組む。



# JADEC医療者向け教育・資材

JADECでは医療者に活用いただくさまざまな資材や学びの場を提供しています。

## JADEC年次学術集会

### 第12回のテーマ：「最適なダイアベティスケア実践に向けた伝統と革新」

2025年7月19-20日に、ダイアベティスケアに携わる人を対象とする第12回年次学術集会をパシフィコ横浜ノースで開催。「学びと交流」をテーマに、JADECカードシステムを中心に80を超える特色あるプログラムが組まれ、会場では参加者による熱いディスカッションが繰り広げられました。参加登録は、オンデマンド配信とあわせて約2,400人となりました。



## ダイアベティスカンバセーション・マップ

ダイアベティスのある人やその家族がグループになり、医療者のファシリテーションのもと、6つのマップを用いてダイアベティスについて学びあう学習教材です。

2025年度は兵庫、埼玉、東京、長野、静岡、山形、山梨、福岡の8カ所で講習会を実施し、年次学術集会での体験セッションとあわせて合計168名が受講しました。



## JADECカードシステム

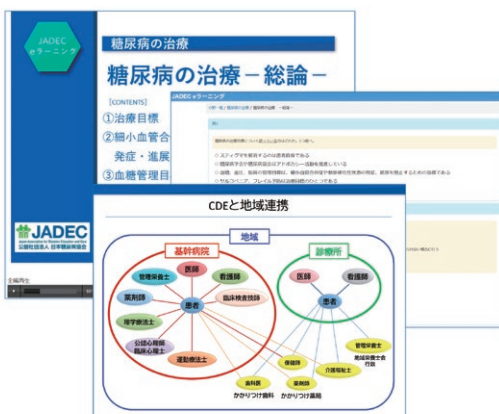
ダイアベティスのある人一人ひとりの特徴に合わせてテーラーメイドなサポートができる医療支援ツールです。ダイアベティスの治療を約100種類に細分化し、それぞれの項目について、カードとリーフレットを用いて医療支援を行うことができます。

2025年度は茨城、福岡、長野で講習会を実施、年次学術集会での体験プログラムの受講者をあわせると269人。また、保健師・薬剤師を対象とする研修会を2回実施しました。



## JADEC eラーニング

ダイアベティスのある人への良質な医療の提供を目指し、医療者や製薬企業関係者のスキルアップを目的に運用しています。基礎から応用まで、充実の80を超えるコンテンツがアップされています。アカウント登録者は、合計19,000人にのぼっています。



## JADEC研究助成

調査研究事業の一環として、新たな知見を広く収集し、ダイアベティスケアに関わる人材を育成することを目的に、研究助成を行っています。

### 2025年度

若手研究者助成	15件
メディカルスタッフ育成研究助成	8件
研究・教育基金研究助成	27件
研究・教育基金高齢者臨床研究助成	3件

## 北海道

JADEC北海道(北海道糖尿病協会)  
☎ 011-231-4032  
医療法人 萬田記念病院

## 東北

JADEC青森(青森県糖尿病協会)  
☎ 0172-39-5062  
弘前大学大学院医学研究科  
内分泌代謝内科学講座

JADEC秋田(秋田県糖尿病協会)  
☎ 018-884-6769  
秋田大学大学院医学系研究科  
代謝・内分泌内科学

JADEC岩手(岩手県糖尿病協会)  
☎ 019-907-6856  
岩手医科大学医学部 内科学講座  
糖尿病・代謝・内分泌内科学分科

JADEC山形(山形県糖尿病協会)  
☎ 023-682-1111  
済生会山形済生病院 医療クラーク室

JADEC宮城(宮城県糖尿病協会)  
☎ 022-717-7611  
東北大学病院  
糖尿病代謝・内分泌科

JADEC福島(福島県糖尿病協会)  
☎ 024-925-1188  
太田西ノ内病院 庶務第一課

## 関東甲信越

JADEC茨城(茨城県糖尿病協会)  
☎ 029-353-2800  
医療法人健清会 那珂記念クリニック

JADEC群馬(群馬県糖尿病協会)  
☎ 027-220-8121  
群馬大学医学部附属病院  
内分泌糖尿病内科

JADEC栃木(栃木県糖尿病協会)  
☎ 0282-87-2150  
獨協医科大学  
内分泌代謝内科

JADEC東京(東京都糖尿病協会)  
☎ 03-6892-2962  
東京都糖尿病協会事務局

JADEC千葉(千葉県糖尿病協会)  
☎ 043-245-8808  
井上記念病院 栄養課

JADEC埼玉(埼玉県糖尿病協会)  
☎ 080-2382-4630  
自治医科大学附属さいたま医療センター

JADEC神奈川(神奈川県糖尿病協会)  
☎ 080-8815-1234  
川崎市立川崎病院  
糖尿病内科

JADEC山梨(山梨県糖尿病協会)  
☎ 055-273-3310  
山梨大学医学部  
糖尿病・内分泌内科

JADEC長野(長野県糖尿病協会)  
☎ 0267-67-2295  
佐久市立国保浅間総合病院  
糖尿病内科

JADEC新潟(新潟県糖尿病協会)  
☎ 025-368-9026  
新潟大学医歯学総合病院  
血液・内分泌・代謝内科

## 中部

JADEC静岡(静岡県糖尿病協会)  
☎ 054-247-6134  
静岡県立総合病院 栄養管理室

JADEC愛知(愛知県糖尿病協会)  
☎ 0561-63-1682  
愛知医科大学医学部内科学講座  
糖尿病内科

JADEC三重(三重県糖尿病協会)  
☎ 059-331-2000  
JCHO四日市羽津医療センター

JADEC岐阜(岐阜県糖尿病協会)  
☎ 058-230-6378  
岐阜大学医学部附属病院  
糖尿病代謝内科

JADEC富山(富山県糖尿病協会)  
☎ 076-434-7287  
富山大学医学部 第一内科医局

JADEC石川(石川県糖尿病協会)  
☎ 076-251-6111  
城北病院  
外来棟診療サービス課

JADEC福井(福井県糖尿病協会)  
☎ 0776-61-8763  
福井大学医学部附属病院  
内分泌・代謝内科

JADEC滋賀(滋賀県糖尿病協会)  
☎ 077-522-4131  
大津赤十字病院 栄養課

## 近畿

JADEC京都(京都府糖尿病協会)  
☎ 075-751-3560  
京都大学大学院医学研究科  
糖尿病・内分泌・栄養内科学

JADEC大阪(大阪府糖尿病協会)  
☎ 06-6879-3743  
大阪大学大学院医学系研究科  
内分泌代謝内科学講座

JADEC和歌山(和歌山県糖尿病協会)  
☎ 073-445-9436  
和歌山県立医科大学附属病院  
第1内科医局

JADEC奈良(奈良県糖尿病協会)  
☎ 0744-22-3051  
奈良県立医科大学  
糖尿病・内分泌内科学講座

JADEC兵庫(兵庫県糖尿病協会)  
☎ 078-382-5868  
神戸大学大学院医学系研究科内科学講座  
糖尿病・内分泌内科学部門

JADEC岡山(岡山県糖尿病協会)  
☎ 086-235-7235  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
腎・免疫・内分泌代謝内科学教室

JADEC広島(広島県糖尿病協会)  
☎ 082-257-1784  
広島大学病院  
内分泌・糖尿病内科

JADEC鳥取(鳥取県糖尿病協会)  
☎ 0859-24-1151  
住吉内科眼科クリニック

JADEC島根(島根県糖尿病協会)  
☎ 0852-32-6946  
松江赤十字病院 栄養課

JADEC山口(山口県糖尿病協会)  
☎ 0836-22-2251  
山口大学医学部 第三内科

JADEC香川(香川県糖尿病協会)  
☎ 087-891-5626  
香川大学医学部附属病院  
内分泌代謝内科・糖尿病センター

JADEC徳島(徳島県糖尿病協会)  
☎ 088-633-7587  
徳島大学先端酵素学研究所  
糖尿病臨床・研究開発センター

JADEC高知(高知県糖尿病協会)  
☎ 088-880-2343  
高知大学医学部  
内分泌代謝・腎臓内科学(第二内科)

JADEC愛媛(愛媛県糖尿病協会)  
☎ 080-5667-2786  
愛媛大学大学院医学系研究科  
糖尿病内科

JADEC福岡(福岡県糖尿病協会)  
☎ 092-631-0656  
九州大学医学部  
病態機能内科学(第2内科)

JADEC大分(大分県糖尿病協会)  
☎ 097-586-5089  
大分大学医学部 看護学科

JADEC佐賀(佐賀県糖尿病協会)  
☎ 0952-34-2551  
佐賀大学医学部 看護学科

JADEC長崎(長崎県糖尿病協会)  
みどりクリニック

JADEC熊本(熊本県糖尿病協会)  
☎ 096-365-5414  
熊本県糖尿病協会事務局

JADEC宮崎(宮崎県糖尿病協会)  
☎ 0985-22-8015  
平和台病院

JADEC鹿児島(鹿児島県糖尿病協会)  
☎ 099-275-6436  
鹿児島大学病院  
糖尿病・内分泌内科医局

JADEC沖縄(沖縄県糖尿病協会)  
☎ 098-975-9184  
沖縄県糖尿病協会事務局

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

中国・四国

